

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

12月中旬、信州大学  
経済学部講義室で行わ  
れた国税庁長官迫田英  
典さんが講師の「我が  
国の直面する諸課題と  
財政、税制、国債、税  
務行政」の講義を聴

講する。直接国税庁長  
官から話が聞ける期待  
感から、学生・税理士  
会・会計人や大学関  
係者で、用意された約  
50ページの詳細な資料  
が不足するほど講義室  
に大勢の聴講者。大学  
の持つ人材ネットワーク  
の魅力を改めて認識  
する。国税庁は、内国  
税の適正かつ公平な賦  
課及び徴収の実現等を  
任務とした財務省の外  
局。「霞が関」の人事  
で、35年ぶりに、主税  
局長から事務次官に昇  
格の話題でも、今後の  
経済財政運営に関心が  
高まっている。経済成  
長と財政健全化の道筋  
は、世界各国の新しい  
リーダーらの動向で注

目されている。また最  
近の円高進行が懸念さ  
れる現状に、これから  
の日本の動向への強い  
危機感が就職を控えた  
学生からも強く伝わっ  
てくる。  
講義内容は、主に学

態。財政法では、原則、  
借金してはならないの  
が財政の建前。所得税  
は、年度により波があ  
るが、消費税は安定し  
ていてブレが無い。と  
各財政データで説明を  
続ける。平成2年と28

ける大切さも実感でき  
た。現在の国税庁職員  
は、約5万6000人、  
東京ドーム最大収容人  
員やパナソニック単体  
の従業員数と同等だ  
が、税体系が社会構造  
の変化に対応できてい

## 私たちが取り巻く行政運営や 経済運営に興味を持ってみませんか

生に将来の日本につい  
て考えてほしいとの意  
図が解説内容の随所か  
ら伝わってくる。予算  
は、「つじつま合わせ」。  
全体歳出予算の、3分  
の1が社会保障費、4  
分の1が国債費、歳入  
の3分の1を公債費で  
賄う自転車操業が実  
用当事者から講義を受  
ける大切さも実感でき  
た。現在の国税庁職員  
は、約5万6000人、  
東京ドーム最大収容人  
員やパナソニック単体  
の従業員数と同等だ  
が、税体系が社会構造  
の変化に対応できてい  
ないとの内容に、これ  
からの税制行政の行方  
に興味が増す。  
日本の税制は、19  
49年にコロンビア大  
学教授シャープが团长  
の日本税制使節団が、  
4か月間弱の調査で報  
告した通称シャープ勅  
告が戦後の税制に大き  
く影響している。複雑  
な税制や運用上の不公  
平が見直され、地方自  
治体の独立性が確立で  
きた点など評価できる  
所もあるが、超高齢化  
社会での税制の行方に  
不安を抱いた講義でも  
あった。  
(NPO法人信州地域  
社会フォーラム理事・  
白馬村森上)



国のトップクラスの人材での講義、  
今後の社会に夢を抱く学生にとっても貴重な機会だ